

「土砂災害から身を守るために」

愛媛県 愛南町立御荘中学校 2年 稲田 風沙

私が生まれたのは、愛媛県の最南端、愛のある町、愛南町の中でも自然豊かな地域です。

地域の人との交流が盛んで、登下校中も、挨拶を交わしたり、時には野菜をいただいたりすることもあります。また、とても自然が豊かな場所で、家の近くには川や山、池や田んぼがあり、朝には鳥の声が、夜には虫の音が聞こえてきます。

そんな地域ですが、ここは土砂災害警戒区域にかかっている範囲がとても広いのも特徴です。また、一部では、土石流危険区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所など、他の地域に比べて土砂災害を人一倍、警戒しないとイケないところにあります。

小学校5、6年の総合的な学習の時間の時に、私たちは防災マップを作りました。地域のマップを先生に印刷してもらい、みんなでペンを持って、

「ここが危ないポイントだよ！」

「ここは確か避難訓練をした時に、避難した場所じゃなかったっけ？」

など、自分たちの知っている情報をどんどん書き込んでいき、一通り情報を確認した後、3、4時間かけて地域をみんなで探検しました。

探検をしている最中には、崖がむき出しになっているところや、地震が起きた時にも安全に進めそうな道路や土砂災害が起きないと想定できる場所などにそれぞれマークを付けました。すると、私たちが知らない危険な場所がまだまだたくさんあることに驚きました。探検した後、防災マップに危険箇所や避難経路など、新しく知った情報も書き足しました。この防災マップは、地域の人にも見てもらえるようにしたので、もし、災害が起こってもみんなで安全に避難できると思います。

そして、防災マップを作った後、どこで土砂災害に被災しても対処できるように、家族と話し合いました。避難する道や避難場所、地震が来る前に備えておくことなどを話し合いました。もし、土砂災害が起こったら、建物の倒壊、火災の発生などに気を付けながら、地元の小学校に避難することを決めました。集合場所を1か所にしたので、安全に注意しながら家族の安否確認ができるようにします。

そして、中学生になり、家族から2つのミッションが出されました。

1つ目は、私の体力です。中学生になった私は、美術部に入っており、毎日楽しく活動しています。しかし、体育の授業以外では、全く体を動かしていません。もし、土砂災害が起こったとき、逃げ遅れることを家族全員に心配されました。そこで、今のうちから走ったり、散歩をしたりして体力づくりをしています。家族からは災害が起こったら、すぐに逃げられるようにしておくことを言われました。

2つ目は、防災リュックの準備です。今まで、食料品や飲料水を入れていませんでした。このままではいけないので、そろそろ準備をしようとしていたときでした。今年の7月、松山市で土砂災害が起こりました。松山城の近くのマンションや住宅に土砂が流れて、ロープウェイや松山城も立ち入り禁止になっているのをニュースで見ました。亡くなった方もいて、住民の方の避難も長かったと聞きました。本当に土砂災害は、身近に起こる災害なのだと改めて実感しました。家族で大急ぎで荷物を作りました。

この暑い中、土砂災害で避難した場合、熱中症が心配です。飲料水は欠かせません。しかし、自分が避難するときに持っていく荷物の量は限られています。家族に、

「風沙が持って逃げられる水の量は何本？」

と聞かれましたが、まだ体力がないのでとりあえず1本だけ入れました。また、持っていく食べ物も決めました。熱中症を防ぐため、飴や乾パン、レトルト食品、カップラーメンなど塩分、糖分を意識した日持ちがするものを入れておこうと話し合いました。話し合っているときに、夏に避難する時と冬に避難する時は持って逃げる荷物を変えないといけないことに気付きました。次は秋ごろに話し合う予定です。

令和6年度 「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞（事務次官賞）

今現在、私が住んでいる地域は安全に過ごせています。しかしこれから起こるかもしれない災害に対して備えをし、自分の命は自分で守ること、そして家族や地域の人々の命を守れるように、今のうちからできることをこれからも行います。